

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (1/3)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	金 基 淑
学歴	昭和51年 2月 成均館大学校 韓国 文科大学史学科卒業 昭和59年 3月 筑波大学大学院地域研究研究科(修士課程)地域研究専攻修了 昭和62年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士前期課程)文化人類学専攻修了 平成 4年 3月 筑波大学大学院歴史・人類学研究科(博士後期課程)文化人類学専攻単位取得				
学位	昭和59年 3月 国際学修士(筑波大学) 昭和62年 3月 文学修士(筑波大学) 平成 4年 3月 文学博士(筑波大学 博甲第938号)				
専門分野	文化人類学、南アジア地域研究				
専門資格					
所属学会	平成 4年 3月 日本文化人類学会 平成 4年10月 日本南アジア学会				
受賞学術賞					
担当 授業科目	学 部 初年次演習、総合社会学基礎演習、フィールド調査法、現代インド研究、文化人類学演習 ・ 、卒業研究演習 ・ 、卒業論文 ----- 大学院 現代文化研究 (宗教とエスニシティ)、現代文化研究演習 (宗教とエスニシティ)、文化 人類学基礎研究法演習 ・ 、文化人類学研究法演習 ・ 、フィールドワーク				
論文指導	論文指導(卒論:3名、修士論文:0名) 論文審査[副査](修士論文:1名)				
教育実績 (FD活動)	(講義科目) ・ 随時授業内容についてのコメントや質問を書いてもらい、次の授業に反映した。 ・ ほぼシラバス通りの授業を行った。シラバスを読まずに受講する学生が多いため、シラバス を印刷して初回の授業の際に配布し、その授業の目標やスケジュールについて説明した。 (演習科目) ・ 初年次演習では、授業の一環としておこなった国立民族学博物館でのミニフィールドワーク を指導し、さらに各グループの調査発表(授業の最終日)を指導した。 ・ 3回生の演習では、近代化に伴う人々の生活と住宅における変容を、京都の町屋に関する文 献を中心に読んで考察・理解するとともに、韓国の伝統家屋、韓屋と比較を行い、その成果 をまとめて、2014年1月21日(火)に行われた3回生成果発表会で報告した。 ・ 韓国の湖西大学に留学(秋学期3ヶ月)していた1人の3回生には、2週間に一回課題のレポ ートを提出させ(メールでのやりとり)、アドバイスを出すなどして指導を行った。 ・ 文章力の向上のために、学生のレポートやレジュメの添削を含めた指導を行った。 ・ 4回生の卒論指導、卒論発表会のパワーポイント作成・発表の仕方などを指導した。 * FD活動(龍谷大学深草キャンパス、2014年2月23日 日) ・ 公益財団法人 大学コンソーシアム京都・高等教育研究推進事業部主催 「第19回 FDフォーラム・第11分科会:異文化理解と多文化交流を深める授業の計画と実践」 にて、「異文化理解の手法としてのフィールドワーク:海外実習授業の事例を中心に」とい うタイトルで報告を行った。				
その他の 教育実践 活動実績					

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (2/3)

<p>H25年度 研究課題</p>	<p>学部・大学院共通 1. 韓国における多文化共生の実情と課題 2. インド中間層研究：若者の教育と仕事を中心に</p>
<p>年度 の研究 活動の 概要</p>	<p>上記の課題1に関しては、8～9月に、韓国のソウルと慶尚北道にてフィールドワークを行い、前年度の調査資料と合わせて考察を行った。 後述：(調査活動) 上記の課題2に関しては、文献資料の考察を行った。</p>
<p>平成 二十五 (2013) 年度 の 主な 研究 成果 等</p>	<p>(著書) (論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) 平成25年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査 (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 大学運営会議委員、自己点検・評価委員会委員、総合社会学部研究報告編集委員会委員(委員長)、国際・日本文化コース主任</p>
<p>平成 二十五 (2013) 年度 の 社会 にお ける 活動</p>	
<p>平成 二十 一 四 (2008 ～ 2012) 年度 の 主な 研究 成果 等</p>	<p>(著書) 1. 「絵語りで伝える神々の物語：ベンガルのポト絵とポトゥア」、共著、平成20年8月、山川出版社、鈴木正崇編、共著者名：金基淑ほか多数、異文化理解講座 9 神話と芸能のインド神々を演じる人々 (pp.31-51) 2. 「はじめに」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.3-4) 3. 「第1章 今日のカースト：つづくもの・変わるもの」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.12-23) 4. 「第2章 カースト・憲法・優遇政策：カーストをめぐる国家の模索と課題」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.26-35) 5. 「第7章 ポトゥア(西ベンガル州)：それでも絵語りの仕事は続く」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.76-84) 6. 「第23章 ポトゥア(西ベンガル州)：芸能民カーストの女性と結婚」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.225-234) 7. 「第28章 ベンガル・クリスチャン(西ベンガル州)：捨てられたカースト」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(pp.282-291) 8. 「疑似親族とカースト」、共著、平成24年8月、明石書店、金基淑編、共著者名：金基淑ほか多数、『エリア・スタディーズ108 カーストから現代インドを知るための30章』(p.101)</p>

平成 25 (2013) 年度 教員活動報告書 (3/3)

平成二十一年(2008)～平成二十四(2012)年度の主な研究成果等	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)
	<p>書評：</p> <p>1. 『布がつくる社会関係：インド絞り染め布とムスリム職人の民族誌』、単著、平成20年12月、思文閣出版、金谷美和著、南アジア研究第20号 (pp.255-260)</p> <p>学術講演：</p> <p>1. 「インドの神々と絵語り ベンガルのポト絵」、単独、平成20年7月、京都市国際交流会館</p> <p>その他：</p> <p>1. 京都文教大学総合社会学部開設記念講演「韓流と日韓交流」(司会・対談を担当)、平成24年9月、京都文教大学弘誓館</p>
(調査活動)	
平成二十一年(2008)～平成二十四(2012)年度の主な研究成果等	平成20年 8月- 9月 韓国における家族の変容と東南アジア女性との国際結婚についての調査
	平成21年 8月- 9月 インド・ベンガル地方のクリスチャン・コミュニティにおける宗教的変容およびインドカーストの変容に関する調査
	平成22年 8月- 9月 「インドの中間層研究：宗教的・教育的実践、カースト意識を中心に」に関する調査
	平成22年10月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査
平成23年 2月- 3月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査	
平成23年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査	
平成24年 8月- 9月 「韓国における家族の変容と外国籍女性との国際結婚」に関する調査	
(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)	
(学内活動)	
平成20年 4月 人間学部人事委員会委員「平22.3まで」	
図書館委員会委員「平22.3まで」	
海外渡航調整委員会「平22.3まで」	
特別補助金申請準備委員会委員「平22.3まで」	
平成22年 4月 国際交流委員会委員「平23.3まで」	
共通教育委員会委員「平24.3まで」	
平成23年 4月 就職委員会委員「平24.3まで」	
研究員調整委員会委員「平24.3まで」	
海外渡航調整委員会委員「現在に至る」	
学科予算委員会委員「平25.3まで」	
平成24年 4月 教務委員会委員(国際・日本文化コース教務委員兼任)「平25.3まで」	
大学運営会議委員「現在に至る」	
自己点検・評価委員会委員「現在に至る」	
自己点検・評価 大学院委員会委員「平25.3まで」	
自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「平25.3まで」	
平成二十一年(2008)～平成二十四(2012)年度の社会における活動	